

東日本ユニオンにいがた

http://niigatachihon.yukigesho.com/

JR東日本労働組合新潟地方本部

2019年7月1日発行

第27号(通巻第127号)

発行者: 星山 圭 編集者: 教育・広報部

みんなの想いを要求へつなげよう!

営業・運輸の未来を語る会を開催

新潟地本は6月17、21日の5日間にわたり、営業・運輸の未来を語る会を開催しました。「新たなジョブローテーション」の運用に関わる組合員、社員が一堂に会して意見を出し合い、議論を通じて施策の問題点を明らかにすることで、たたかいは創り出すために開催しました。

安全・技術継承・将来設計…率直な意見や想いが次々と

変革2027を踏まえ、新たなジョブローテーションの実施についての提案を経営側から受けて以降中央本部は、職場の組合員、社員から寄せられた声をもとに2度にわたる説明交渉を行い経営側の考えを明らかにしてきました。



これまでこの交渉を踏まえ更なる要求作りを通じて営業、運輸で働く社員の未来を切り拓くために、職場、系統、労組所属の有無を超えて意見交換を行う場として各日2回の計10回にわたり開催しました。

バーベキュー in ピアBandai



みんなで集まろう!
みんなで楽しもう!

2019年7月6日(土)
12時00分より
「ピアBandai」
パワーテント「ピアプラザ」

中央本部は「変革2027を踏まえた新たなジョブローテーションの実施」について、6月24日、申31号「変革2027を踏まえた新たなジョブローテーションの実施」に関する申し入れを提出しました。



◆出席者の意見より◇
・これまで第一線でやってきた人が将来のビジョンを持ってなくなっている
・社員・家族の幸せは人によって違う
・将来の仕事、生活拠点などが立てられない
・新人社員からベテランまでを一律に括することに無理があるのではないのか
・専門性や長期間の教育が必要な業務になじまない
・これまでは駅・車掌・運転士と一定程度の実務経験をさせたことで守られてきた安全をどう担保するのか
・飛行時間が重視されるパイロットの様に乗務時間を重視する方が妥当ではないのか

◆本部申31号を申し入れ
ジョブローテーションに対し選択制を提案
中央本部は「変革2027を踏まえた新たなジョブローテーションの実施」について、6月24日、申31号「変革2027を踏まえた新たなジョブローテーションの実施」に関する申し入れを提出しました。

◆本部申31号 申し入れ
1.「ライフサイクルコース(現行)」と「ジョブローテーションコース」の二つのコースを設定し、社員一人ひとりによる選択制度とすること。

移転休暇取得を認めるよう求める 本部申21号団体交渉を終える

中央本部は6月24日、申21号「移転休暇」に関する申し入れの団体交渉を行いました。

転勤に伴い住居の移転が発生する社員が、就業規則に基づいて請求した移転休暇が承認されないという実態に対して申し入れを行っていたもので、新支社内でも同様な声が複数上がっています。

移転休暇について経営側は「総合的判断とし、勘案しながら休暇の承認は行う」としました。

上げた社員一人ひとりが持つ技術や技能を発揮できる人事運用が重要です。中央本部は、激しく変化する経営環境下においても究極の安全とサービスレベルの向上を実現していくために、6月24日、申31号「変革2027を踏まえた新たなジョブローテーションの実施」に関する申し入れを提出しました。

が平等に取得できるよう静養休暇等と同じく移転の事実発生に基づき休暇を承認することを繰り返し求めました。

また現場長等の判断によって扱いが違わないように、休暇の取得に対して判断しやすき根拠をはっきりするべきであると主張しました。

経営側は主張や考え方は否定しないが、現状で妥当であるとの回答に終了しました。

社員誰もが有給休暇である移転休暇を取得できることをめざし、今後も取り組みを進めていきます。

5月22日に本部主催のウォーキングレクリエーションが開催され参加してきました。

青空の下の隅田川・浅草 食とウォーキングを楽しむ



ウォーキング。良い汗を流しました。

全体交流では各地本が用意した景品の抽選会なども行われる中で、他の地本の仲間とも交流を図れ、楽しく過ごしたレクリエーションでした。

(参加者投稿)